

抗 Rpn7 (*S.cerevisiae*) 抗体, アフィニティ精製

62-205 100 ul

プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ユビキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献 1)。**Rpn7** は 26 S プロテアソーム lid (蓋部) の制御サブユニットのひとつである(文献 1、2)。**RPN7** 遺伝子は正しい lid 構造を形成して 26S 複合体を構築するのに重要であることが知られている(文献 3、4)。

用途:

- 1) ウェスタンブロットィング (~1000 倍希釈) 2) 免疫沈降

他の用途は試されていない。

製品: リコンビナント Rpn7p でアフィニティ精製したウサギ・ポリクローナル抗体

抗原: 大腸菌に発現させたリコンビナント酵母 Rpn7p (文献 4)

形状: 精製 IgG in 100 mM NaCl, 10 mM Tris-HCl pH 7.4, 0.05 % sodium azide

反応特異性: *S. cerevisiae* Rpn7p。他の種は試されていない。

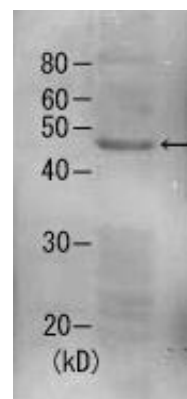
保存: 4℃または-20℃で送付、小分けして-20℃で保存。冷凍解凍は避けるべきであるが、必要な時は急速に行う。

データリンク: SGD [RPN7/YPY008W](https://www.yeastgenome.org/locus/RPN7/YPY008W)

文献: この抗体は文献 3、4 に用いられた。

- Hershko A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." *Annu Rev Biochem* **67**: 425-479 (1998)
PMID: [9759494](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9759494/)
- Finley D *et al* "Unified nomenclature for subunits of the *Saccharomyces cerevisiae* proteasome regulatory particle." *Trends Biochem Sci* **23**:244-245 (1998) PMID [9697412](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9697412/)
- Isono E *et al* "Rpn7 Is required for the structural integrity of the 26 S proteasome of *Saccharomyces cerevisiae*." *J Biol Chem* **279**:27168-76 (2004) PMID: [15102831](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/15102831/)
- Isono E *et al* "The assembly pathway of the 19S regulatory particle of the yeast 26S proteasome." *Mol Biol Cell* **18**:569-76 (2007) PMID: [17135287](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/17135287/)

図 1 *S. cerevisiae* 粗抽出液においてこの抗体を用いてウェスタンブロットィングを行い、Rpn7 (49kDa)を検出した。



関連製品: [#62-201 anti-Rpn3](#), [#62-203 anti-Rpn5](#),
[#62-207 anti-Rpn9](#), [#62-209 anti-Rpn12](#), [#62-211 anti-Nob1](#),
[#62-213 anti-Nas6](#), [#62-215 anti-Tem1](#)